

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年4月7日配本 定価2916円(本体2700円+税) 土屋 喜敬 著 相撲 ★★ 「土俵際」「軍配があがる」など、私たちの生活に身近な相撲由来の言葉は多い。明治時代にスポーツとなる以前、相撲は歌舞伎と同じく芸能として親しまれていた。1500年にもわたるその歴史を、力士や興行者など当事者だけでなく、土俵やまわし、櫓といった関わりのある物、祭りや遊戯、文学ほか、あらゆる角度から多彩に描きだす。相撲博物館の協力により図版多数。 ☆☆ 関連書:『相撲の歴史』(山川出版社)、『相撲、国技となる』(大修館書店)など。	四六判上製・298頁 《ものど人間の文化史179》 ISBN978-4-588-21791-3 C0320
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年4月14日配本 定価4320円(本体4000円+税) 陣内 秀信 著 水都ヴェネツィア その持続的発展の歴史 ★ 若き日にこの地で学び、この地を原点としてビザンツやイスラーム世界、さらには江戸東京を含む世界の都市へ視点を広げ、水都学の提唱に至る著者のヴェネツィア研究の集大成。その成り立ちと魅力を語り、交易都市から文化都市へと転換する十六世紀の生活空間、サン・マルコ広場の再構成の過程、都市の祝祭空間を論じて、水と共生してきたこの都市のサステイナブルな発展の歴史を明らかにする。 ☆☆ 関連書:同著者既刊『都市を読む*イタリア』(小局刊)、『イタリア都市の空間人類学』(弦書房)ほか。	A5判上製・328頁 ISBN978-4-588-78608-2 C1052
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年4月21日配本 定価3024円(本体2800円+税) ハリー・コリンズ 著/鈴木 俊洋 訳 我々みんなが科学の専門家なのか? ★★ 専門家は安全だと言うのに、不安になったり、専門家がリスクを説明しても、それでは市民に納得してもらえないのは、何故か。我々は科学技術にどう向き合えばよいのか。原発、気候変動、ワクチン接種など具体的な事例とともに、「専門知」のあり方について詳細に検討する。本年度センター試験「国語」の問題文でも引用された科学論の第一人者による定評ある必読書。 ☆☆ 関連書:ベック『危険社会』、フェルバーク『技術の道徳化』(以上、小局刊)など。	四六判上製・230頁 《叢書ユニベルシタス1055》 ISBN978-4-588-01055-2 C1330
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年4月24日配本 定価4968円(本体4600円+税) G. W. F. ヘーゲル 著/寄川 条路 監訳/石川 伊織・小川 真人・瀧本 有香 訳 美学講義 ★ 西洋美学思想史に燦然と輝くヘーゲル美学。しかし従来読まれてきた版は、聴講者 H. G. ホトーの手で「体系」へと編集され、歪曲されたテキストであった。1995年に H. シュナイダー編で初公開された本書は、1820/21年冬学期ベルリン大学での美学講義を忠実に伝える校訂版であり、ヘーゲル美学のありのままの姿を示すとともに、その後の講義の発展をすべて内包する基礎的内容をなす。 ☆☆ 関連書:ペゲラー編/寄川条路監訳『ヘーゲル講義録研究』、寄川条路編『ヘーゲル講義録入門』(小局刊)。	四六判上製・416頁 《叢書・ユニベルシタス1057》 ISBN978-4-588-01057-6 C1310
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年4月25日配本 定価5724円(本体5300円+税) 飯田 泰三 著 大正知識人の思想風景 「自我」と「社会」の発見とそのゆくえ ISBN978-4-588-62534-3 C3031 明治ナショナリズムの解体、すなわちナショナルなエートスの否定と脱政治化の潮流のなかで登場した大正知識人の思想とはいかなるものであったか。理想主義・人格主義・文化主義にもとづく「自我」の内面的主体化、そして社会主義・生物進化論の影響下に試みられた「社会」の実証的対象化を軸に、やがて両者のロマン主義的融合を志向してゆく彼らの知的営為を、長谷川如是閑ら文明批評家の著作をもとに論じる。【政治思想・近代日本思想】 ☆☆ 関連書:飯田泰三『戦後精神の光芒』(みすず書房)、飯田泰三共編『長谷川如是閑評論集』(岩波文庫)他。	A5判上製・440頁 ISBN978-4-588-62534-3 C3031
帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年4月下旬配本 定価5184円(本体4800円+税) 永島 剛・市川 智生・飯島 涉 編 衛生と近代 ペスト流行にみる東アジアの統治・医療・社会 ISBN978-4-588-37604-7 C1022 19世紀末以降、ペスト流行の舞台は帝国主義に揺れ動くアジアだった。列強の拠点となった中国の開港都市、外国人居留地が撤廃されたばかりの神戸、日本の植民地になってまもない台湾と朝鮮、そしてオランダ統治下のジャワ。権力関係が錯綜する場所で模索された西洋的な衛生事業の導入は、そのまま近代に至る道に直結していた。国境を越えて広がる共通の脅威を通して「アジアの近代」の総体に迫る画期的な試み!【歴史学・医療社会史】 ☆☆ 関連書:ウィリアム・H・マクニール『疫病と世界史』全2巻、飯島涉『感染症の中国史』(中央公論新社)他。	A5判上製・276頁 ISBN978-4-588-37604-7 C1022

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

- * 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
* 今後、新刊内容のデータ等を e メールにて配信させていただきます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。